

平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進 計画における分野	1 生涯学習
---------------------	--------

分野別の目標	1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実
--------	-----------------------------------

1 現状と課題

- ① 区民一人ひとりのニーズに対応できる学習機会を提供・充実させることが求められています。
- ② 学習や活動のための場所の確保や充実に努めることが求められています。
- ③ だれもが学習や活動ができるような配慮や仕組みづくりを進めることが求められています。
- ④ 学習の場所として図書館の機能を充実させることが求められています。

2 基本的な方向・取組状況

取組状況	取組状況結果資料ページ
(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実	1~2
(2) 学習や活動ができる環境の提供	2~3
(3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり	3
(4) さまざまな学習活動を支援する区立図書館づくり	3~4

3 評価対象事業

事業名	事業の概要
①大学連携の推進	区内大学地域連携担当者会議及び区内大学学長懇談会を引き続き実施していきます。また、大学連携検討会及び区内大学連絡会を設け、連携を進める場を整えます。
②生涯学習一日体験フェア	文京アカデミア講座の企画協力団体等が一堂に集い、講座の内容紹介、学習相談、学習情報の提供及びサークル活動の成果発表の場となる生涯学習一日体験フェアを実施します。
③大学・企業等との協働の推進	大学の学習環境や高度かつ専門的な知的財産を活用するため、大学施設を使った大学キャンパス講座、大学学長の講演会（大学ブレイクス特別公開講座）を実施します。また、企業や団体の社会貢献事業を積極的に誘致し、メセナ講座を実施します。
④文京アカデミア講座	地域、文学、歴史・社会、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、多様な分野について学ぶことができるよう、バラエティに富んだ「文京アカデミア講座（生涯学習講座）」を実施します。また、時間や場所を問わずに、パソコンから講座等の受講ができる「e-ラーニング講座」を配信します。
⑤インターネット施設予約システムの更新	施設利用者に対して更に利便性・操作性に優れたサービスを提供するとともに、システムの処理機能を見直すことで施設管理者の事務処理の一層の効率化を図ります。
⑥アカデミー向丘の整備	旧六中跡地に建設される複合施設の一部として、生涯学習施設アカデミー向丘を整備し、区民の学習・文化活動の場の充実を図ります。

4 分野別評価

参考：24年度評価

- ・多様な内容の講座を実施している点について評価できる。今後は、講座の実施時間帯等を適時見直し、より多くの人々が参加できるよう検討されたい。
- ・大学連携については、大学と区がある程度裁量を持って事業を実施できるような制度の整備が課題である。また、学生や研究者のもつ知的資源の効果的な活用や大学担当部署への積極的な働きかけを行い、相互にとって持続可能な連携事業のあり方を検討されたい。
- ・アンケート結果や意見をできる限り反映し、事業現場でPDCAサイクルが実現できるよう努められたい。

参考：平成25年度評価

- ・個々の講座については、比較的満足度も高くチラシ類も質が良く評価できるが、内容が多岐に渡るため、推進計画の分野別の目標や課題に沿った方針を持って企画するよう努められたい。
- ・大変バラエティに富んだ講座を行っているが、社会的に意義がある、地味でも掘り下げた講座も大切であり、回数よりも、内容の良いものに力を入れる点を検討されたい。
- ・区の人口の年齢構成と講座が狙っている年齢層に乖離があるので、参加者の多い年代向けの企画の充実や、世代ごとにポイントを絞る等の工夫も検討されたい。

平成26年度評価

平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
-----------------------	-----	--------------	-----	------

アカデミー推進計画における分野	1 生涯学習
-----------------	--------

分野別の目標	2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実
--------	-------------------------------------

1 現状と課題

- ① 区民のさまざまな学習や活動のニーズを満たすことのできる情報の収集・整理が求められています。
- ② 収集した情報を分かりやすく、入手しやすい方法で提供することが求められています。
- ③ 区民が気軽に相談できる機会と場が求められています。
- ④ 情報提供において、各地域にある図書館が拠点となることが求められています。

2 基本的な方向・取組状況	取組状況結果資料ページ
(1) 学習情報の収集・整理	4
(2) 分かりやすい情報提供	4
(3) 相談体制の整備・充実	5
(4) 地域における情報拠点となる区立図書館づくり	5

3 評価対象事業

事業名	事業の概要
①生涯学習情報の一元化及び相談拠点の整備	区ホームページと指定管理者、大学等と関連情報の相互リンク等を推進し、情報のネットワーク化を図るとともに、相談拠点を設けます。 また、情報紙の発行に対する補助や、ホームページ、パンフレットによる情報提供を行います。
②図書館におけるICTサービスの拡大	平成27年度の図書館システムのリース期間終了に伴い、スマートフォンやタブレットなどの新しい端末やユーザインターフェース（※）に対応した利便性の高いシステムを導入し、利用者サービスの向上を図る。 （※）：キーボードやマウス、ディスプレイなど、人間と機械（コンピュータ）の間を結ぶ役割を果たす部分や機能のこと。
③文京区立図書館のサービス向上	文京区立図書館サービス向上検討委員会の検討を踏まえ、区民ニーズに沿った中央館・地区館の機能を充実させることにより、サービスの向上を図る。

4 分野別評価

参考：24年度評価

- ・広報誌スクエアについては、デザインや色味に工夫が見られ、視覚的に非常に分かりやすい。今後とも魅力的な紙面づくりに努められたい。
- ・生涯学習情報を俯瞰的に捉えることができる情報発信づくりを強く要望する。また、既存の情報発信媒体を効果的にリンクさせることで、情報の一元化を図られたい。
- ・積極的な情報発信を行い、講座等への潜在的なニーズを持った区民にも情報が行き届くよう工夫されたい。
- ・生涯学習の相談面は事業として弱い。生涯学習に精通した人材を積極的に活用し、窓口での人的な対応を充実されたい。
- ・図書館のICタグについては、費用対効果などの課題事項について今後とも検討されたい。

参考：平成25年度評価

- ・図書館事業について、現状の取組は大変評価できるが、サイレントマジョリティ（声なき多数派）を大切に、区民ニーズの聞こえない声を汲み取っていくことに努められたい。
- ・アンケートの取り方については、参加者数や講座の良し悪しの評価だけでなく、幅広い内容の設問も検討されたい。
- ・講座にバラエティを持たせるのも大切だが、人気のあるものを繰り返す配慮や参加していない人へのアプローチについても検討されたい。

平成26年度評価

平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】		大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	生涯学習
アカデミー推進計画における分野	1	生涯学習			
分野別の目標	3	区民・団体の主体的な活動の支援			
1 現状と課題					
<p>① 区民の主体的な学習や活動を支えるための仕組みづくりが求められています。</p> <p>② 生涯学習活動をより活性化させるため、学習や活動の成果を披露する場の充実が求められています。</p> <p>③ 生涯学習司や地域文化インタープリターなど、区独自の資格制度による人材の育成と活用が求められています。</p> <p>④ 地域に存在する学習・活動経験者の知識等を区民又は学習する人に還元できるよう、人材活用の推進が求められています。</p>					
2 基本的な方向・取組状況					取組状況結果資料ページ
(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり					6
(2) 活動成果披露の場の充実					6
(3) 人材育成の推進					6~7
(4) 人材活用の推進					7
3 評価対象事業					
事業名		事業の概要			
①生涯学習一日体験フェア		文京アカデミア講座の企画協力団体等が一堂に集い、講座の内容紹介、学習相談、学習情報の提供及びサークル活動の成果発表の場となる生涯学習一日体験フェアを実施します。			
②生涯学習支援者の育成及び活動機会の提供		地域の生涯学習のリーダーとなる「文の京生涯学習司」、地域文化事業に貢献する「文の京地域文化インタープリター」、アカデミア講座の運営を支援する「文京アカデミアサポーター」など、生涯学習支援者の育成やスキルアップを図るとともに、活動機会の提供・充実に努めます。			
③文京アカデミア講座		地域、文学、歴史・社会、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなどバラエティに富んだ内容の講座を提供するとともに、大学等各種提案主体の特長を活かし、受講者の満足を得られる講座を提供します。また、資格取得キャリアアップ講座やe-ラーニング講座など、多彩なメニューを提供します。			
4 分野別評価					
<p>参考：24年度評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定の知識を習得した人材（生涯学習司）を相談窓口配置する等、その経験や知識が区民に還元される工夫が必要である。 生涯学習に限らず、各事業分野において地域の担い手の後継不足が課題となっている。人材育成・活用がこれからも継続して実施していけるよう研究されたい。 					
<p>参考：平成25年度評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい企画も必要だが、区の講座を通じてコミュニティが形成されるという特徴を生かしたり、受講生の自発的に出てくる意見を大切にできる方策も検討されたい。 また一方で、受講者の幅を広げたり、受講者が固定化し新規の方が入りづらくなる点への配慮が必要である。 オリンピック・パラリンピックを見据え、語学ボランティアや地域を紹介出来る人材の育成等、長期的視野に立った事業を検討されたい。 様々な分野で他区と協働する企画も研究されたい。 					
平成26年度評価					